

総合資源エネルギー調査会
省エネルギー・新エネルギー分科会 省エネルギー小委員会
変圧器判断基準ワーキンググループ（第2回）
議事要旨

1. 日時：2023年5月30日（火）16:00～17:00

2. 場所：オンライン

3. 出席者

委員：安岡座長、澤田委員、高橋委員、鶴崎委員、土井委員

オブザーバー：一般社団法人日本電機工業会 酒井オブザーバー、天兒オブザーバー
一般社団法人日本配電制御システム工業会 奥田オブザーバー
送配電網協議会 穴見オブザーバー

事務局：経済産業省 省エネルギー課 稲邑課長、神取課長補佐、鈴木係員、宮原係員

4. 議事：

- (1) 民生用変圧器のエネルギー消費効率、測定方法、目標年度、区分、目標基準値、達成判定、表示事項について
- (2) 民生用変圧器の取りまとめ（案）について

5. 議事要旨：

○議事（1）民生用変圧器のエネルギー消費効率、測定方法、目標年度、区分、目標基準値、達成判定、表示事項について

民生用変圧器のエネルギー消費効率及び測定方法、目標年度、区分、次期目標基準値、達成判定、表示事項等について、了承された。

委員の主な意見は以下のとおり。

- 全損失と負荷率は線形の関係ではないため、基準負荷率を正確に設定する為には実使用の負荷曲線から算出する必要があるが、各々の実態調査結果から算出することが困難であるため、現案の基準負荷率の設定方法は理解できる。
- 全損失のうち無負荷損の占める割合は大きく、将来技術進展として無負荷損の低減技術を想定しているため、次期基準の設定方法は妥当な判断。

○議事（２）民生用変圧器の取りまとめ（案）について

民生用変圧器の取りまとめ（案）について、了承された。

委員の主な意見は以下のとおり。

- 民生用変圧器はリプレースがなかなか進んでいない機器であり、50年程度の長期間使用されている機器についてはリプレースによる大きな省エネ効果が見込まれるため、省エネ性能が大きく改善されていることについて普及啓発に努めていただきたい。
- 高効率の民生用変圧器が普及するためには、販売事業者や設計事業者を含め、全ての関係者に普及促進に取り組んでいただく必要がある。

以上